

へんしも

人とひとを結ぶ本：へんしも情報 HensimoJournal

Kochi Prefectural Federation of Small Business Associations

6
2017
vol.195



- 1 Close up! ものづくり
株式会社モンプレジール
- 3 中央会だより
平成29年度通常総会を開催
第69回中小企業団体全国大会(長野県)のご案内
中央会事業レポート
組合いんふおめーしょん
小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業公募のお知らせ
H29年度ものづくり担い手育成事業研修プログラムのお知らせ
平成30年3月新規高等学校卒業予定者への求人早期提出と
若年人材の確保・定着のための雇用環境整備等についてのお願い
特定退職金共済制度のご案内
組合110番
Pick Up! 先進組合
- 13 県内各業界別の動向・5月

人を継ぎ、組織を育む

高知県中小企業団体中央会

株式会社
モンプレジール
Close up! ものづくり補助金採択企業の取り組み紹介

革新的サービス：一般型／設備投資のみ

自動クッキー成型機導入及びオーブン増設による「高機能クッキー」と「高知県産品を活用したクッキー」の生産体制強化

◎事業計画概要

高知県産品(生姜・土佐茶)と高機能食品「キヌア」を活用した革新的な健康志向のクッキーは、高知県が進める「地産外商」の商談会において、大手商社・量販店からの受注が増加傾向にあるが、安定供給ができない状況にあり、品質の均一化及び量産体制強化を図るための設備導入を実施し、現商品の安定供給及び新商品の研究開発強化を目指す。

事業取組みの経緯

小型の焼き菓子「クッキー」は、経時劣化による型崩れが少なく、多種多様な味や形で販売される洋菓子店の売れ筋商品である。一方で味や食感による商品の個性を打ち出しても、幅広い業態への商流を起こすには訴求力が脆弱であった。

当社では設立時より地場の農産品を使った商品開発を行っており、近年では生姜や土佐茶を材料にした「高知県産品を活用したクッキー」が人気商品となっている。また平成25年からはスーパーフードとして注目を浴びる「キヌア※」と高知県の農産物を活用した「高機能クッキー」の商品開発に着手し販売を始めたところ、健康志向が高く評価され、県内外へ新しい商流が多数始まった。

販売後、各取引先への出荷量は順調に推移しており、これまでの手作業での製造ラインでは生産が間に合わず、抜本的な生産体制を見直す必要がでてきており「高知県産品を活用したクッキー」と「高機能クッキー」の品質を落とさず、機械化のメリットである生産体制強化及び商品の均質化により生産能力を向上させ、競合他社との価格競争にも今まで以上に柔軟に対処できる土壌を確立し経営の安定化を図る。

※南米アンデス原産で栄養価が高く、ヨーロッパや日本で健康食品として注目されている雑穀

実施内容

①クッキー成型機の導入

これまで手作業で行っていたクッキー生地成形作業を自動化する機械。正確な計量が可能となり、成型作業に要する時間の軽減並びに作業速度向上による量産化を図ることができた。



クッキー成型機

②スチームコンベクションオーブン

コンベクションオーブン(ファンにより熱風を強制対流させるオーブン)に蒸気発生装置を取り付けることで、熱風または蒸気をそれぞれ単独で利用して「焼く」「蒸す」ができる多機能な加熱機器。最新の機能により熟練職人の経験を数値化し標準化することで、クッキーの生産能力が向上した。



スチームコンベクションオーブン

事業取組みの成果

今回の機械化により生産性を飛躍的に向上させることができ、県内外の取引先への更なる量産納入が見込まれる。

また生産能力向上、効率化によって生じる時間を新たな商品開発に振り分けることが可能となったことで現在主力製品である、高知の懐かしいお菓子ミレービスケットを使った「ミレーサンド」の開発にも繋がり、売上の拡大を図ることができた。

キヌアを用いた商品開発の契機となった高知県食品工業団地事業協同組合との関係性による商品流通メリットは、量産化と合わせて経営の安定化に大きく貢献している。当社単独では得ることのできない業界情報を幅広く得られ、情報を商品づくりに活かすこともでき、食品団地を主にした様々なネットワーク活動に参加し、広く情報発信ができたことなど多くの成果に繋がった。

商品は直営店舗での販売のほか「まるごと高知」「高知県特産品販売」「てんこす」などで定番商品として安定して販売されており、地産外商に向けたブランド構築の土壌が作られている。

今回の取組みにより、街の小さな洋菓子店舗から食品工場機能を有した組織へと進化することができたことに加え、新たに3名の雇用ができ、さらなる商品アイテムの増加にも繋がっている。

株式会社 モンプレジール

所在地：〒780-0812高知県高知市若松町1701番地
 TEL：088-855-6248 FAX：088-855-6283
 E-mail：monplaisir.6248@gmail.com
 URL：http://monplaisir.co.jp/
 設立：2015年(平成27年)1月15日
 従業員数：11名 資本金：300万円

◎企業概要

高知県産の材料を可能な限り取り入れ、お客様に心から喜んでいただけるスイーツづくりを心がけている。街の洋菓子店としてだけでなく、食品加工業として地産外商を意識した商品展開に挑戦している。



代表取締役 森田公美子氏

製品内容

- 生姜クッキー：2サイズ
- 土佐茶クッキー：2サイズ
- キヌアクッキー：1アイテム(卸売のみ)

また組み合わせによるセット商品を販売しており、直営店舗で個別販売する他、包装資材を工夫することで幅広いギフト商品としても展開している。



個性を活かした新たな商品づくりを図り、より広い商圈への地産外商を拡大していく。

商品開発についても、長年食品製造に携わり実績を残してきた食品団地各社の熟練職人に試作の段階からアドバイスをいただき商品づくりに生かすことができおり、組織の垣根を超えた様々な提携活動は、製造・販売の両面で大きな成果を得ている。

また、フーデックスジャパンやスーパーマーケットトレードショーといった大規模商談会への参加により販路拡大を図っていく。



主力商品のミレーサンド

販売計画

他に類のない個性的な商品の販売により無理な価格競争に参入せず、売り上げの増加がそのまま利益増加に直結する流れを継続しながら、地産外商を強化していきたい。本事業の活用は、量産体制の確立により地産外商に向けた幅広い販売業種・業態への商品提案を可能にした。県外の商談会で得たノウハウを活かした新たな商品開発にも取り組み、将来的に自社ホームページなどからの情報発信を充実させ、商談機会の増加を図り、これまでの経験で培った知識を高精度の商談成功につなげていきたい。

今後の活動予定

本事業後に開発した「ミレーサンド」は今や当社の主力商品となり、有名百貨店への納品も始まっている。直営店の売り上げと販売委託先への納品という二本立てで、経営安定化は当初の計画以上の結果となっているが、地元の産品と直営店でのお客様のご意見という当社の原点を大切に守りながら高知の

高知をアピールする一役としての誇り

本事業を活用することにより、商業・サービス分野双方において、これまで二の足を踏んでいた地産外商に積極的に参入することができた。更には同じ事業化を図る様々な企業規模の皆さまとも歩調をともにして日々前進できている実感がある。多くの方々と一緒に高知をアピールできることに誇りを持つとともに、本事業に参入できるに至った多くの方々のお力添えに、この場を借りて心から御礼申し上げたい。

平成29年度通常総会を開催!!

—全議案原案どおり可決承認される—



本会では、去る6月9日(金)高知市上町「城西館」において、平成29年度通常総会を開催しました。

当日は、多くの来賓の方々のご臨席のもと、本会会員114名が出席し、町田会長が議長となり議案審議が行われ、第1号議案から第6号議案まで原案どおり承認可決されました。また、第7号議案・役員(理事)補充選挙の件では、溝渕篤氏に代わり嘉数実氏が新たに選出されました。

議事終了後には、来賓を代表して高知県知事(代読 高知県商工労働部 中澤部長)ほか多数の方々より祝辞を賜り、皆様から日頃の中小企業組合の活動等について激励のお言葉を頂きました。

引き続き開かれた懇親会では、高知労働局 園田局長の乾杯のご発声を皮切りに、和やかな雰囲気のもと懇談・交流が活発に行われました。



高知県商工労働部
中澤部長

決議議案

- ◆第1号議案 平成28年度決算関係書類(事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案並びに特別会計運用状況等)承認の件
- ◆第2号議案 平成28年度共済制度特別会計決算関係書類(事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案)承認の件
- ◆第3号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算決定の件
- ◆第4号議案 平成29年度共済制度特別会計事業計画並びに収支予算決定の件
- ◆第5号議案 借入金残高最高限度額決定の件
- ◆第6号議案 事業計画、収支予算等字句の修正及び流用又は追加更正について会長一任の件
- ◆第7号議案 役員(理事)補充選挙の件

平成29年度重点目標

平成29年度においても引き続き、組織を通じて県内中小企業の育成・発展に貢献するため、下記の施策・事業に取り組んでいくものとする。

【1】国・県等の事業を活用した中小企業支援

1. 本県中小企業の経営力向上についての支援
2. 本県中小企業の革新的ものづくり・商業・サービス開発、平成24年度～26年度補正ものづくり補助金に係るフォローアップに関する支援
3. 県産品のブランド化及び地産外商の取り組み、並びに地域資源活用等の中小企業の新たな事業分野開拓についての支援
4. 次世代人材、ものづくり担い手育成に関する支援

【2】組織化・運営支援活動

1. 中小企業組合の経営基盤強化並びに組織活性化に対する支援
2. 中小企業者の組織化推進と育成に対する支援
3. 企業組合制度を活用した創業・起業の促進
4. 各種研修事業による組合等の人材育成の推進
5. 組合事務局の強化・育成に対する支援

6. 中小商業・サービス業の組織化及びまちづくり推進への協力及び支援
7. 組合等を基盤とした中小企業のIT化推進
8. 青年中央会及び組合青年部活動に対する支援
9. 官公需共同受注体制の整備・促進
10. 中小企業倒産防止共済、小規模企業共済、退職金共済、経営者総合保障共済制度、業務災害補償制度、火災共済等各種共済制度の普及促進

【3】調査研究、情報提供

1. 中小企業及び各業界の景況調査並びに情報提供
2. 情報誌、ホームページ等による中小企業施策情報の発信・提供

【4】中小企業に関する政策推進

1. 中小企業政策の充実・強化に向けた提言活動
2. 中小企業団体全国大会(開催:長野県)への積極的参加並びに決議事項実現化に向けた推進活動

第69回 中小企業団体全国大会

長野県大会

とき 平成29年10月26日(木) 13:00~16:00
ところ キッセイ文化ホール(松本市水汲69-2)

今年の全国大会は長野県松本市です。本会では、下記のとおり、全国大会への参加を兼ねた観光視察研修旅行の参加者を募集します。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、参加のお申込みにつきましては、同封の募集案内裏面「参加申込書」にご記入の上、本会までご送付(FAX可)下さい。

長野県の大自然を満喫していただける癒しの旅へご案内します。
2日間温泉宿へ宿泊し、歴史文化や地元の幸を堪能していただき親睦を深めましょう。

第69回中小企業団体全国大会(長野県大会)と観光視察研修団日程表<2泊3日>

第1日目 10月25日 (水)	[FDA342] 高知龍馬空港 (出発) 8:50発 名古屋飛行場(小牧空港) 9:50着 10:15 徳川美術館(見学) 10:45 11:45 11:50 【名物“ひつまぶし” 宝善亭(昼食)】 12:50 13:30 【明治時代の建物等を移築公開】 博物館明治村(散策) 15:00 16:00頃 “昼神温泉” ユレイの宿 恵山【宿泊】 ○早めの到着。山間の温泉宿でごゆっくりお過ごしください
第2日目 10月26日 (木)	(朝食)お宿 8:30 諏訪大社(日本で最も古い神社の一つ。三大奇祭“御柱祭”で有名) 9:30 10:30 11:15 【信州味噌を使用した昼食】 信州・石井味噌 12:15 (第69回中小企業団体全国大会) 13:00~ キッセイ文化ホール 16:00頃 17:00頃 “安曇野温泉” 穂高ビューホテル【宿泊】
第3日目 10月27日 (金)	○ゆっくりのご出発。安曇野の自然の中で朝の散歩をお楽しみください (朝食)お宿 9:30 大王わさび農園 (日本一の広さを誇るわさび農園の散策・お買物) 9:50 10:50 13:00 【中山道43番目の宿場町】 中山道 馬籠宿 (散策・昼食) 14:30 16:00 【トヨタグループの企業ミュージアム】 トヨタ産業記念館(見学) 17:00 17:40 [FDA347] 名古屋飛行場(小牧空港) 18:40発 高知龍馬空港 19:40着
参加料	お一人様 (20~22名参加の場合) 113,000円 (23~25名参加の場合) 109,000円 (26~28名参加の場合) 105,800円 (ただし宿泊は2名1室。2泊とも1名1室利用の場合は16,500円加算) ※参加料には、大会参加料、交通費、宿泊費、飲食費、旅行保険料、その他の経費を含みます。
【旅行主催】 東武トップツアーズ(株)高知支店 【旅行企画】 高知県中小企業団体中央会	

※上記の旅程・参加料は予定のため変更する場合がありますのでご了承下さい。

<お問い合わせ先> 高知県中小企業団体中央会

TEL:088-845-8870 FAX:088-845-2434

担当



山本 倫久



久保 竜夫

平成28年度連携組織活性化支援事業(活性化支援)

高知県酒造組合

事業名及び
テーマ

土佐酒ブランド化戦略策定

●背景

高知県では、昨年5月、原料(酒米や酵母)から製品の販路開拓までの課題に対して一体的に取り組んでいくため、高知県酒造組合、高知県、全農、本会等で構成される「土佐酒振興プラットフォーム」を立ち上げた。その一環として、本会では同組合を対象に土佐酒をブランド化していくための基本コンセプトを策定するため、本事業において支援をすることとした。

●事業概要

事業では、デザイナーの迫田司氏(サコダデザイン株式会社)をコーディネート役に、「地域ブランド」に関する勉強会、組合員及び関係者によるワークショップを開催したほか、同氏が組合員蔵元を訪問してのヒアリング調査等を行った。

ワークショップでは、参加者が考える土佐酒のイメージを出し合い、これまで改めて口に出すことの少なかった土佐酒への思いを共有し、ヒアリング調査では、各蔵の酒造りに対する考え方やブランド化に対する意見等を収集した。

これらの情報をもとに同氏よりブランド化の方向性として、次の基本コンセプトを提案いただいた。



勉強会



ワークショップ

- 蔵ごとに異なる味や材料、製法にレギュレーションを定めるのではなく、土佐独特の宴会文化の表現をブランディングの柱とする。
- なかまになりたくなるお酒のコミュニケーションを表現する。

●成果及び今後の展望

同組合では、この提案をさらにブラッシュアップし、より具体的なブランドコンセプトを策定した。

今後は、このコンセプトを反映したイベント用コミュニケーションツールの作成、ホームページのリニューアル等を行ったうえで、これらを活用して東京で「土佐酒」ブランド発表イベントの開催、さらには平成27年度から高知県貿易協会が主催して連年開催している欧州での販路開拓イベントにも参加するなど、国内外において継続的なプロモーションを展開していく予定。



平成29年度女性商業者等活躍促進事業(団体間の交流促進事業)

高知おかみさん会

事業名及び
テーマ

「ふるさと創生ニッポンおかみさん会 全国フォーラムin高知」開催事業

●背景

おかみさん独自の視点を生かしたまちづくり活動を行うことを目的に、会員相互の情報交換などを行う組織として平成9年に設立された「高知おかみさん会」では、よさこい祭りでの給水所設置や土佐のおきゃくでのお茶席設置、高知県商店街振興組合連合会・商工会議所のイベントへの協力などを主な活動としている。

今般、同会が加盟する全国組織の「ふるさと創生ニッポンおかみさん会」が毎年開催する全国大会を本年度本県で開催することを提案したところ、決定し開催する運びとなった。

そこで本会では、「ふるさと創生ニッポンおかみさん会全国フォーラムin高知」の取り組みを本事業において支援することとした。



尾崎知事による基調講演の様子

●事業概要

1. フォーラム開催に向けた各種準備活動

委員会の開催及び広報活動

約20名の会員で構成された実行委員会をおくとともに、広報、研修、交流会、宿泊・オプションツアーの各委員会を設け、フォーラム開催のための検討を行った。また、全国からの参加者と交流する機会となることから、県内で活躍している商工会女性部をはじめとした女性経営者を中心とした団体を訪問し、フォーラムの広報活動を実施。

2. 「ふるさと創生ニッポンおかみさん会全国フォーラムin高知」の開催

開催日時:平成29年6月7日(水)午後2時～

開催場所:高知市本町「ザ クラウンパレス新阪急高知」

参加者数:321名

開催内容:①基調講演(高知県知事 尾崎正直氏)

②パネルディスカッション「商業・観光・移住の観点から地方のありかたを考える」

パネラー:尾崎正直高知県知事、清水国明氏(タレント・NPO法人河口湖自然楽校 楽校長)、
岩崎比奈子氏(公益財団法人 日本交通公社 主任研究員)

コーディネーター:野口智子氏(NPO法人スローライフ・ジャパン事務局長)

③交流会(参加者による「わが街自慢PRタイム」を実施)



パネルディスカッションでは、商業・観光・移住の観点から各登壇者より、ふるさと創生のみちしるべとして「住民参加でひとづくり」「想い・知識・技術・行動」といったキーワードが示された

●成果及び今後の展望

東日本を中心に県外からも100名以上の参加があり、「商業・観光・移住の観点から地方のありかたを考える」と題して実施されたパネルディスカッションでは、登壇者が日々現場で接している事例が紹介され、「あつという間の1時間半だった」との声も多く聞かれるなど、参加者の多くは大会テーマの「ふるさと創生のみちしるべ」の通り、今後のそれぞれの事業活動・団体活動の指針となるヒントを得たようだった。今後も、次回開催地への引き継ぎや、高知おかみさん会内部の次世代育成を通して引き続き県内経済の活性化に貢献していく。

夏の夜は商店街の夜市へGO！

今年の夏も、高知市・四万十市・四万十町それぞれの商店街で「夜市」が開催されます。商店街毎に趣向を凝らしたイベント等が催されておりますので、ぜひ、足をお運びください！

土曜夜市
(高知市)

協同組合帯屋町筋(廣末幸彦理事長)では、7月1日(土)～7月29日(土)の毎週土曜日、高知市中心商店街・帯屋町筋で県内最大の夜市である「土曜夜市」を開催いたします。当日は、金魚すくいやヨーヨー釣りなどの楽しい企画や、焼きそばやかき氷などの美味しいモノがいっぱい！その他、青年中央会の「青年部まつり」なども開催されます！

開催日 / 7月1日(土)・7月8日(土)・7月15日(土)・7月22日(土)・7月29日(土)

土曜夜市
(四万十市)

四万十市の各商店街振興組合の主催で7月15日から土曜夜市がスタートします。天神橋商店街振興組合(國吉康夫理事長)では、7月15日(土)・22日(土)に、東下町商店街振興組合(谷本みき理事長)では、7月15日(土)に開催します。当日は、ご当地アイドルのライブやカラオケ大会などの歌声が響くなか、商店街の方々によるドリンク、おつまみコーナーでのおもてなしや輪投げ、射的のほかアームレスリングや中学生・高校生による書道パフォーマンスなどパワフルなイベントも用意され、夜の街中は大いに賑わいます！

また、一条通商店街振興組合(北川廣志理事長)の納涼祭も8月5日(土)に開催されます。今年は浴衣コンテストも開催されるほか、恒例の路上ビアガーデンや金魚すくいなど盛りだくさんのイベントをご用意しております！

開催日 / 東下町:7月15日(土)、天神橋:7月15日(土)・7月22日(土)、一条通:8月5日(土)

金太郎
納涼夜市

しばてんカード協同組合(藤田俊宏理事長)では四万十町商工会と連携して、7月14日(金)～8月4日(金)の毎週金曜日、四万十町上本町・本町商店街にて高知県内で一番古い歴史をもつ「金太郎納涼夜市」を開催します。当日は、子供達が模擬店を出店する子供夜市や「日本一に挑戦スイカの種飛ばし大会」など子供参加型イベントをたくさん用意しております。その他、8月12日(土)には花火大会も開催されます！

開催日 / 7月14日(金)・7月21日(金)・7月28日(金)・8月4日(金)・8月12日(土)



掲載無料

組合いんふおめーしょんのコーナーを、組合活動のPR、イベントなどの告知にぜひご活用下さい。

中央会まで
どしどし情報を
お寄せ下さい!!

平成29年度

小規模事業者組織化指導事業 助成金の公募開始について

○小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業

事業概要

組合や組合員の「経営基盤の強化」「生産性の向上」を目指した、「既存の共同事業の改善」「新たな事業開発」のためのフィージビリティ・スタディ(実現可能性調査)の実施、又はフィージビリティ・スタディの結果を具体化するための事業に対して助成します。

公募期間

平成29年7月1日(土)～8月31日(木)

手法例

例:利用者・消費者等へのアンケートによるフィージビリティ・スタディ
例:新商品のテストマーケティングによるフィージビリティ・スタディ
例:国内外の展示会等への出展によるフィージビリティ・スタディ

対象組合

構成員の4分の3以上が小企業者(常時使用する従業員の数が5人(商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については、2人)以下の会社及び個人)である組合及び企業組合等

補助金額・補助率

【補助金額】40万円以内

【補助率】3分の2以内

上記支援事業を活用したこれまでの主な事例紹介

高知市中の橋商店街協同組合

中の橋商店街活性化ビジョン策定のために、組合員への意識調査や来街者へのニーズ調査、関係行政・機関等へのヒアリング調査等の調査研究を行った。

●詳しくは、高知県中小企業団体中央会のホームページ又は下記の担当者までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 高知県中小企業団体中央会 連携推進部

高知中央青果買受人協同組合

卸売市場における取引データの電子化を図るにあたって、実現可能性が高いか先進事例調査や組合員へのニーズ調査、市場内アンケート等で調査研究を行った。



小澤武史

TEL:088-845-8870

中小企業・小規模事業者のみなさまの
**成長と発展を
本気で応援!!**



高知県信用保証協会

**.com
BANK**

あなたと未来を創る

金融機関から「金融サービス企業」へ・・・
真にお客様から信頼され、
お客様に有益な商品・サービスが
提供できるよう全役職員が
「意をひとつ」にして
取り組んでいます。



高知信用金庫

〒780-0822 高知市伊予町2丁目4番4号
TEL:088)882-2525 TEL FAX:088)882-1115

ドットコムバンク 検索

平成29年度 ものづくり担い手育成事業 研修プログラムのお知らせ

本会では、県内ものづくり企業の生産性向上を図り、受注機会の確保や増大に繋げていくことを目的に、ものづくり基盤技術に係る人材育成研修会を開催します。

今年度開催する研修プログラムは下記を予定しています。なお、正式に日程等が決まりましたら、テーマごとに改めてご案内します。

①機械加工技術者研修プログラム（※実施時期は予定のため変更の可能性あります）

テーマ	開催時期(予定)	場 所	募集人数
品質管理(作業手順書作成)	平成29年7月11日、12日<2日間>	高知職業能力開発短期大学校 (香南市野市町)	25名
品質管理(作業効率改善)	平成29年9月12日、13日<2日間>	高知職業能力開発短期大学校 (香南市野市町)	25名
シーケンス制御(予定)	平成29年9月23日、24日<2日間>	高知職業能力開発短期大学校 (香南市野市町)	10名
機械製図の見方・読図能力向上 (予定)	平成29年11月頃<2日間>	高知ちばさんセンター(高知市布師田)	15名
金属材料の特質(予定)	平成29年11月頃<5日間>	高知県工業技術センター(高知市布師田)	5名
フライス盤技術(予定)	平成29年12月頃<2日間>	ポリテクセンター高知(高知市槇橋通)	7名
機械保全(予定)	平成30年1月頃<1日間>	ポリテクセンター高知(高知市槇橋通)	20名

②工場管理者研修プログラム

テーマ	開催時期(予定)	場 所	募集人数
ムダ取り工場管理の基礎	平成30年2月頃<1日間>	県中央地域	20名

③溶接技術者研修プログラム

テーマ	開催時期(予定)	場 所	募集人数
超音波探傷試験UT1	①UT1講習 平成29年7月5日、6日、7日 <3日間> ②UT1実技 平成29年11月28日、29日、30日 <3日間>	高知県立高知高等技術学校(高知市仁井田)	10名
浸透探傷試験PT	H29年12月5日、6日、7日 <3日間>	高知県立高知高等技術学校(高知市仁井田)	10名

＜お問い合わせ先＞高知県中小企業団体中央会 連携推進部

担当



古木健雄 小澤武史

TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434



通常の定期預金より
高めの金利設定
※当金庫内比較



固定金利の半年複利で
効率よく資産運用



ライフスタイルに合わせて
選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期日前の解約はできません。

個人のお客さま向けの

定期預金

マイハーベスト

※詳しくは、店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

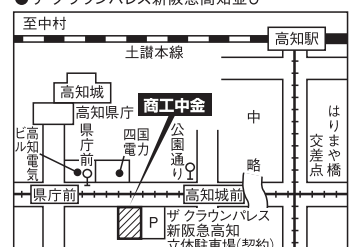


商工中金

高知支店 088(822)4481

〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ グラウンパレス新阪急高知並び



平成30年3月新規高等学校卒業予定者への求人早期提出に御協力下さい

去る平成29年5月23日、高知県知事・高知県教育長・高知労働局より本会に対して、「平成30年3月新規高等学校卒業予定者への求人の早期提出と若年人材の確保・定着のための雇用環境整備等について」、会員組合並びに組合員企業等への周知・広報に関する協力要請がありました。



平成30年3月新規高等学校卒業予定者への求人の早期提出と若年人材の確保・定着のための雇用環境整備等についてのお願い

平素は労働・教育行政の推進につきまして、特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、全国的に景気は緩やかな回復基調が続いており、本県でも景気の緩やかな回復基調とともに雇用情勢の改善が進み、就職を希望する新規高等学校卒業予定者を取り巻く雇用環境は好転しております。

雇用情勢が改善するなか、県内各産業で人手不足が深刻化しており、その主たる要因として、少子化による若年者の減少、新規学校卒業者の県外就職、及び県内就職した者の早期離職率の高さが上げられます。

高知県、高知県教育委員会、高知労働局では、持続的な県内企業の維持・発展のため、各産業の担い手の確保・定着を重要課題として、連携・協力した取り組みを行っております。

しかし、本県の新規高等学校卒業予定者の県外就職率は依然として高い状況であることから、高知県で働きたい者全員が県内で働くことができるよう求人の早期提出をお願いいたします。併せまして、県内就職率を少しでも改善させるため、より多くの県内企業について知ることのできる取り組みや県内で働くことの魅力を伝えるための取

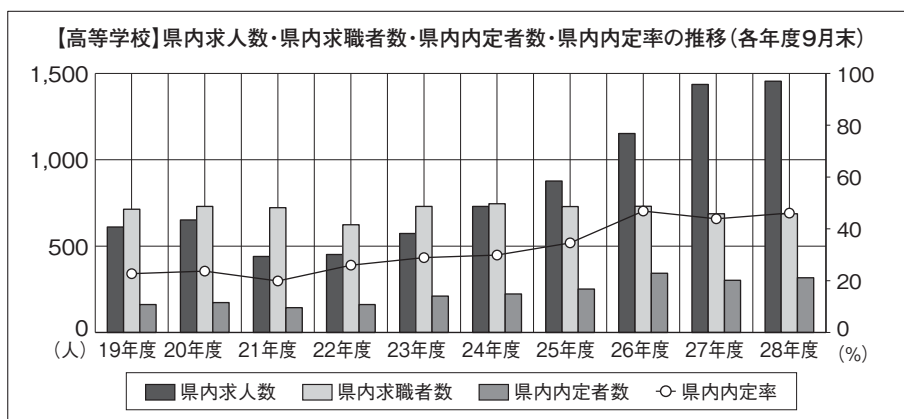
組みについて、県内各企業の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

また、就職後も長く定着し、能力を発揮し続けていけるよう、高知県働き方改革推進会議においては、全ての人が働きやすく活躍しやすい職場環境づくりを目指して取り組むことを確認したほか、今年度から、新入社員や採用企業対象の離職対策セミナー等を実施することとしております。

仕事と生活の調和が取れた効率的な働き方ができる魅力ある職場環境の構築と、若年人材が能力を向上していける育成環境の整備をすることによって、県内就職者の増加を促進し、新規高等学校卒業予定者をはじめとする若年人材の確保・定着を進めることができるものと考えております。

つきましては、6月1日から、県内各ハローワークで新規高等学校卒業予定者に対する求人受付を開始いたしますので、ご理解いただき、特段のご配慮を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

高知県知事 尾崎 正直
高知県教育長 田村 壮児
高知労働局長 園田 智幸



高 知 県
中 央 会
退 職 金
共 済 制 度

特定退職金 共済制度のご案内

大切な「人財」に安心の退職金を!!

制度の特長

- ①退職金制度の確立は、従業員の確保と定着化をはかり、企業経営の発展に役立ちます
- ②この制度を採用することにより、中小企業でも安定した退職金制度が容易に確立できます
- ③月々、定額の掛金を支払うことにより、将来の退職金を計画的に準備できます
- ④事業主が負担するこの制度の掛金は、全額損金または必要経費に計上できます
- ⑤この制度は、勤労者退職金共済機構が実施する退職金制度（中退共）との重複加入が認められます
- ⑥この制度を採用することにより、法律で定められた退職金支払いのための保全措置が講ぜられます

●共済契約者（加入事業主）

高知県内に事業所を有する事業主

●被共済者（従業員）

事業主（共済契約者）と雇用関係にあり、加入日現在において満15歳以上満69歳以下の従業員

なお、原則従業員全員を被共済者とする必要があります

●掛金

従業員1人につき1口1,000円から最高30口30,000円まで

掛金は従業員（被共済者）が退職する月まで毎月継続して納入する必要があります

掛金は全額事業主（共済契約者）負担となります

●この制度の掛金は、三井生命保険株式会社に運用を委託しています

詳細内容や加入お申し込みについては、お気軽に下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会

〒781-5101 高知市布師田3992-2 TEL 088-845-8870

KUMIAI
110

[組合110番]

定款変更の効力発生時期

Q. 総会にて定款変更を決議した場合、その効力の発生時期はいつになるのでしょうか？

A. 定款変更は、行政庁の認可を受けなければ効力が生じません。（中小企業等協同組合法第51条第2項）効力発生時期を厳密にいうと、行政庁の認可決裁日（認可書作成日）ではなく、認可があったことを組合が知り得た時、すなわち組合に認可書が到達した時となります。

（参考…中小企業組合質疑応答集）

高度な加工技術により新たな地材地消をめざす

厚浜木材加工協同組合

〔所在地〕北海道厚岸郡浜中町茶内旭3丁目1番地 〔TEL〕0153-65-2321
〔組合員数〕10人 〔設立〕昭和58年5月 〔URL〕<http://www.kohinmokuza.com/index.php>

■背景・目的

北海道内に植林されたカラマツの用途は、これまで輸送用・梱包用資材という低価格取引が主であったが、付加価値を高めることで地元林産業の活性化を図ることを目的に組合を設立した。ねじれや割れという欠点を持つカラマツ材に高度な加工技術を施すことによって道産カラマツの知名度を上げ、地材地消を推しはかることが課題となっていた。

■事業・活動内容

国と北海道の支援による広域林業構造改善事業を導入し、組合による設備投資を行い、カラマツの有効活用を勧める手段として組合による共同加工、共同生産事業を柱に「カラマツログハウス」を開発し生産販売することで目的の達成と課題の解決を図ろうとしたが、知名度の低さが災いして販売に苦戦することとなった。

そこで、国や大手建設会社の大型公共事業へ木材を供給するという事業の方向転換を図り、下請事業に徹することで組合の体質改善を図った。その結果、道内各地の工事を受注し実績を積み重ねることで道外の工事も受注することに成功した。これはログハウス作りで培われた加工技術が活かされたことが大きく影響しており、ねじれや割れが生じやすいカラマツの欠点を高度な加工技術によって作り出される「集成材」という手法を用いて解決することで、牛舎や学校校舎などこれまでは鉄骨やRC造のみであった大型建築物の受注につながることができるようになった。

現在は下請事業を継続しつつ、長年蓄積してきた木造建築の接合方法や設計知識、施工技術を一つにまとめ、大型建築工事に対して組合が自ら提案するKTCシステム（コウビン・ティンバー・コンストラクション・システム）を開発し、一歩先へ進んだ組合への発展を図ることで地材地消を展開中である。



■成果

国や大手建設会社による大型公共工事の下請受注に事業を特化し、取引先の信用を得たところが大きな要因である。さらに、ログハウス販売で蓄積したカラマツ加工技術は高度なものであり、カラマツ材を貼り合わせて作る集成材によって大型建築物の梁（最大15メートル）を作ることができるのは道内でも当組合を含め2者のみであり、伐採適期を迎えた豊富なカラマツ資源の有効利用になくてはならない存在となっている。

海外25カ国へ!世界に羽ばたく「青森の黒にんにく」

協同組合青森県黒にんにく協会

〔所在地〕青森県上北郡おいらせ町木崎158番地 〔TEL〕0178-56-5317
〔組合員数〕9人 〔設立〕平成25年9月 〔URL〕<http://96229jp.com/>

■背景・目的

青森県はニンニク生産量全国一位を誇るが、かつて据モノニンニクは価格がつかず捨てられてきた。加工による付加価値化が産地青森の課題だったが、2006年3月に弘前大学の研究により「黒にんにくに強い抗ガン作用」があることが分かり、黒にんにくの産地化を目指した取組みが開始された。

■事業・活動内容

2006年3月、弘前大学の研究により黒にんにくに強い抗ガン作用があることがメディアで報じられた。青森県中央会では、黒にんにくの量産化による地域活性化を目指して県内中小企業2社と研究を開始。2007年当該2社が量産化に成功すると、次に同年施行された「地域資源活用促進法」による「地域資源活用事業化コーディネート活動等支援事業」を活用し、産地化に向けた取組みを開始。2008年に同地域資源活用事業に参集した中小企業のうち9社による任意団体「青森県黒にんにく協会」の発足を主導するとともに味、熟度、トレーサビリティ、食品表示等を第三者委員によって確認、認定する「黒にんにく協会推奨商品認定制度」を創設した。

2012年は黒にんにく市場の拡大に伴い中韓製黒にんにくや電子ジャー製の黒にんにくが台頭。これらとの競合を避けるため、地域団体商標登録を目指したブランド化委員会が発足。翌年協同組合として法人化。同時に青森県産業技術センター農作物加工研究所とコンソーシアムを構築し、高品質な黒にんにくに求められる水分量、pHを特定。また、2014年にはピログルタミン酸、GABA、シクロアリインなどの有効成分含量の規格化にも成功。同年、これら分析結果とそれまでに進出していた海外20カ

国への展開実績を踏まえ、「青森の黒にんにく」として地域団体商標登録出願。2015年7月に全国で始めて黒にんにくとして地域団体商標に登録された。

地域団体商標登録により中韓製や他産地との差別化に成功したが、2016年2月29日（ニンニクの日）には「全国黒にんにくサミット」を、9月6日（黒にんにくの日）には「世界黒にんにくサミット」を開催し、黒にんにくの聖地へ向けた取組みを継続している。この間、青森県中央会が実質的な事務局機能を担うなど継続した支援を行い、共同研究や共同宣伝事業の効果活用、黒にんにくの持つ機能性、高温多湿条件でも1年以上の賞味期限を誇る特徴などから、理事長企業をはじめとする組合員企業の販路開拓により、全米50州400店超への展開をはじめ海外25カ国へ販路は拡大、原料ニンニク価格も3倍以上高騰する等地域活性化が果たされた。

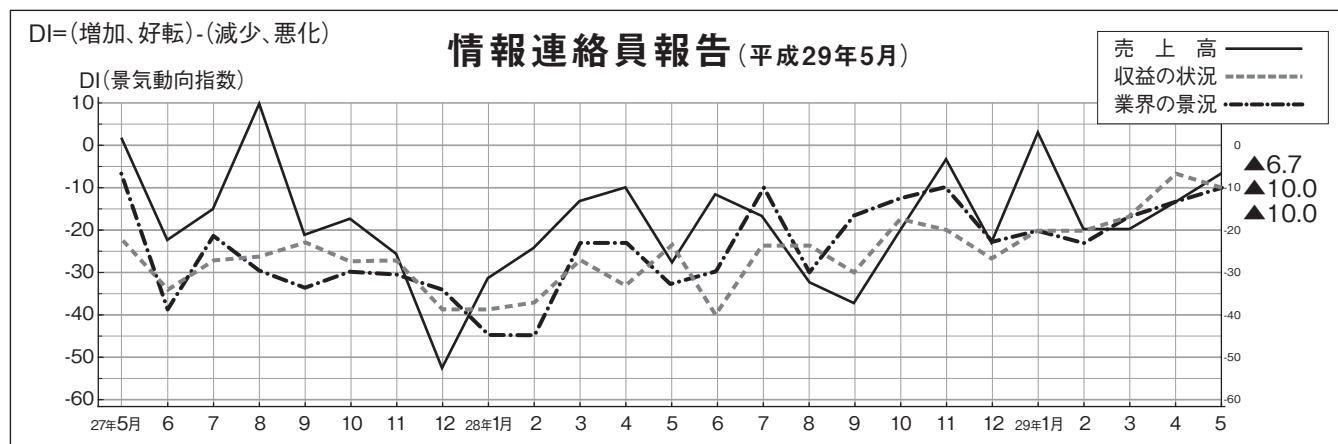


■成果

廃棄若しくは低価格で販売されてきた据モノニンニクを付加価値化したことで、売上高は15億円を超えるまでに成長。今後、売上高20億円を目指すために「世界黒にんにくサミット」開催による知名度向上・需要喚起、科学的分析に基づく成分規格化による更なるブランド化が期待される。

情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

2017年5月(前年同月比)



業界の状況



食品団地

5月はゴールデンウィークが好天に恵まれ、県内外ともに商況は活発となり順調に推移しました。繁忙期のアルバイト雇用や短期雇用は非常に採用が困難となり、今後特に製造部門での人員確保や新規雇用の難しさが表面化しております。



生コンクリート製造

出荷数量は前年同月比117%。高知市地区の市況は徐々に改善されつつある。



酒類製造

県外は増加が続いている。輸出も微増ながら右肩上がりの状態。



コンクリート製品

出荷数量は前年同月比132.6%。市況は、徐々に改善されつつある。



水産食料品製造

どこが悪いというのではなく、全体的に売上が低下している。原魚の漁が悪く価格が高値安定の状況で、売上が悪い状況の中、価格転嫁が出来ないため、収益もますます悪化の状況。



機械団地

団地内の業況は、業種間でバラツキがあるものの、総じて横ばいから少し低下ぎみで推移している。各社とも従業員や熟練技術者の確保に苦慮している。



木製品素材生産

5月はスギ、ヒノキ共に量は1割程度減。価格はスギ、ヒノキ共に横ばいの状況である。



刃物製造

本年度になり受注も若干弱くなっている。



製材

全般に活発な状況はみられず、現状維持の状態ではあるが原木の不足、高騰の情報がある。



船舶製造

高い操業度で推移している。



製紙

生産、出荷順調であるが夏場に向かい出荷は少なくなっている。



珊瑚装飾品製造

5月度製品会取引高は、前年度同月比126%であった。小売りの売り上げは低迷、原木は未だ高値が続いている。



印刷

前月に引き続き官公需及び県内一般印刷は低調。県外需要は一部に好調部分も見られるが全般的に昨年並みか。昨年の参議院選挙がらみの特需の影響もあり前年割れと厳しい結果となった。



卸団地

景気回復は感じられない。既存店の売上が下がっている中、従業員の確保に苦慮している企業が多い。対策として配送の一部外部委託や工場の稼働日数減を行っている。



青果卸売

扱い高は4月と比べて微増だが収益面では曇り。各社によってばらつきがある。



商店街(四万十市)

ゴールデンウィークは例年同様、県外客の流入が一定あり、5月3日の公家行列は三山ひろしをゲストに迎え例年以上の観客があった。月後半は夏を思わせる日が続く、飲料や氷菓系の需要が増えたのではないかとと思われる。



生鮮魚介卸売

マグロの入荷は近海の入船がありませんでした。それとともに輸入物の入荷も少なかったです。カツオは高値で推移。小魚の入荷少ないです。



旅館・ホテル

宿泊稼働率は維新博の効果とともに食を求めている観光客やインバウンドにより前年を上回り効果が出ている。繁忙になることはありがたい反面、人手不足感はますます解消されず深刻である。



各種小売(土佐市)

5月は全体的に売上が伸びていた。少しでも売上増加の月が多くなってほしい。



飲食店

業況については特段の変化は無い。組合で会報誌(年2回発行)の創刊に向けて現在準備中で、員外店舗にも配布して業界の活性化に繋がりたいと考えている。



ガソリンスタンド

原油価格はOPEC総会後に急落したが、下げ進むには至らず4月と同水準に落ち着いた。全国のガソリン小売価格は若干の下降はあったが、本県の石油製品市場は変動なく5月は安定市況であった。



旅行業

組合クーポン売上は前年同月対比110%、全旅クーポンを加味して119%。3、4月の売上が前年割れだった為、5月で若干取り返せた感があるが、未だ総売上は前年を下回っている。



電気機械器具小売

5月度はほぼ前年並みでエアコンが好調、太陽光発電システムは大変厳しい。



一般土木建築工事

平成29年5月分の公共用土木生コン出荷量は、前年比112.7%、前年同月比126.8%の実績。防波堤工事や東部自動車道、幡多路の高速道路の延伸など大型工事は継続している。



中古自動車小売

低調のままの推移。軽四市場もあまり伸びておらず、相変わらずの市場状況です。



電気工事

組合員の施工する電力引込線関連の工事量は+2%の前年同月比102%となった。水準は低い今後の増加を期待したい。



商店街(安芸市)

特に業況に変化はみられない。



一般貨物自動車運送

組合実績は高速道路利用を中心に微増。燃料価格は若干値下げになったが、6月以降は値上げに転じるとみられ、注意していく必要がある。今期もドライバー不足が課題ではあるが、打開策はみつからないまま。



商店街(高知市)

中央公園地下駐車場利用状況は前年比売上73.1%、利用台数108.7%。中心街での免税売上は、4月・5月の累計で前年比159.5%となっており、外国客船の入港日以外でも多くの外国人観光客が見受けられた。



タクシー

実働1日1車当りの前年同月比営業収入:101.4%、輸送回数:101.3%。当月の実働率は68.4%。

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company



東京海上日動



経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
三井生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります！

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクを
カバーする保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
三井生命保険株式会社



* 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込み
いただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い
込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記まで
お問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあ
たっては、「設計書 (契約概要)」「特に重要な事項のご説明 (注意喚起
情報)」「ご契約のしおりー約款」および高知県中小企業団体中央会
の「退職金共済規程 (規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取
扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7 駅前観光ビル 2F TEL:088-882-3402
<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

三井-KB-2017-15 (損保)B-2017-3 (2017.4)
B-2017-1044 (2017.4) 使用期限 2018.3.31

制作・発行 [高知県中小企業情報 697号]

人を継ぎ、組織を育む

 高知県中小企業団体中央会
<http://www.kbiz.or.jp>

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館4階
Tel.088-845-8870 Ip.050-3537-1702 Fax.088-845-2434
E-mail : info@kbiz.or.jp